

## 羅針盤 vol.99

校長 白岩博明

1月17日(土)、18日(日)の2日間、「大学入学共通テスト」が行われました。この結果を受けて、具体的に志望校を決定し、国公立大学の2次試験に挑みます。多くの生徒がチャレンジしますが、前期日程での合格を目指して頑張って欲しいと思います。そして、高校3年生は、23日(金)から「卒業試験」(進路未決定者以外)が行われています(29日が最終日)。高校生活最後の定期試験となりましたが、悔いの残らぬようにと真剣に取り組んでいます。

ところで、本校のシンボルである校門脇の大木「メタセコイア」ですが、数年ぶりの”剪定”を終え、さっぱりとした姿になりました。ちょっと寂しげで、寒さに震えているような気もします。また、氣の毒ですが、カラスの巣も撤去いたしました…。(右は、そのビフォーアフターの写真です。)



## 「grit を覚えてください」

1月19日(月)、高校2年生の「英語スピーチコンテスト」が行われました。このコンテストは、10月に行われた研修旅行(カンボジアコース、沖縄コース、東北・北海道コース)で学んだことを英語で表現することを目的としたコンテストです。7人の生徒が発表しましたが、どの生徒の発表も想いを込めたものでした。審査の結果、1位は8学級の荒谷拓輝くん(カンボジアコース)、2位は2学級の西嶋颯希さん(沖縄コース)、3位は田村叶羽くん(沖縄コース)となりました。3人とも甲乙つけがたい素晴らしいスピーチでした。

このコンテストの最後に「Guest Speech」がありました。アメリカから留学生として本校で学んでいるジャックくんのスピーチです。2学期(9月)から本校に来て4か月半ですが、流暢な日本語でのスピーチは見事としか言いようのないものでした。しかも、紙など見ないのでスピーチでしたので、場内は唖然とした雰囲気に包まれました。

後日、ジャックくんからスピーチのための原稿を見せてもらいました。その原稿は「日本」と「私」という漢字以外はすべて平仮名で書かれていました。しかも、丁寧な字でした。ジャックくんの許可をいただいたので、漢字を交えて原稿通りを以下に記してみます(発表したものと若干違っています。また、助詞等が不足しています)。

みなさん、あなたの目標は何ですか？ 大学ですか？ 仕事ですか？ 家族ですか？ 目標は私たち、前に進むために大切なだと思います。

私のスピーチのトピックは、「グリット」です。「グリット」は英語の単語(grit)です。しかし、日本語でもとても似た単語があります。日本語では「がんばります」です。この言葉は私に興味があります。なぜなら、私たち毎日、「がんばって」、「がんばります」という言葉を



当たり前に聞いているからです。でも、考えてみるとこの言葉には、続けることや諦めない心が入っていると思います。

日本で生活するのは、私にとって簡単なことではありません。留学生としての時間の中で、日本の学校生活は、みんなで学び、話し合い、そして、一緒に努力することを学びました。まだ、日本語は難しいです。その時間とても大変です。

私の家族と友だちはアメリカにいます。私の家族と、友だちと離れるることは本当につらかったです。日本に来る前にアメリカの友だちや先生は、「日本に行くのは楽しみだね、grit!を覚えてください」。だから、その言葉を今も毎日思っています。

みなさん、私のおすすめは、難しいとき、疲れたとき、帰りたいとき、gritを覚えてください。一緒にがんばりましょう。みなさん、ありがとうございます。

盛大な拍手が暫し続きました。鮮明な日本語、ちょうどいい間合い、聴衆をゆっくりと見回す姿…。ジャックくんの非の打ちどころのない素晴らしいスピーチに釘付けになりました。2年生のみんなは、ジャックくんから学んだ「grit」(がんばり、粘る力、やり抜く力)という単語を決して忘れることがないでしょう。

ジャック、これからも、共にがんばっていきましょう。